



## 情報保障を考える LiD/APDとは？

**LiD/APD** は、**聞き取り困難症**と呼ばれています。聞き取り困難症 (LiD/APD) は、純音聴力検査 (ヘッドホンやイヤホンから音を聴き、聞こえたときにボタンを押す検査) で正常であるにも関わらず、うるさい所や、複数人数の会話、電話、接客、授業などの場面で聞き取りの困難を示す状態のことを言います。



小児から成人まで多くの当事者がいらっしゃいますが、日本では、診断基準も定まっていません。耳鼻咽喉科で聴力検査を受けても正常範囲で大丈夫だと言われ、困難を感じているにも関わらず、適切な診断、支援に繋げることができない状態です。聞き取り困難の自覚があるかないかに関わらず、聞き取り困難症に該当する当事者が少なからずいると考えられます。



御家庭や個別対応の場合などでは、当事者のそばにいる方が気付くことがあるかもしれません。  
学校の授業等でも聞き取ることが難しく、口頭だけの指示や説明では、理解できない場合があります。  
はっきり聞き取れないため、メモを取ることに苦勞していると思われる。  
「話を聞いてない」「集中力がない」「授業中によく寝てしまう」と思われている生徒の中に該当者がいるものと思われる。

 **音声による情報だけでは、内容が伝わらない場合があります。**

### ○情報の視覚化 (配布資料・画面共有・口元の可視化など)

言葉による説明には、文字やイラストや画像による視覚的な情報を常にセットで提示する。

### ○環境調整 なるべく雑音が少なくなるように環境を整える。

### ○機器の使用 補聴援助システム、ノイズキャンセリングイヤホン、文字起こしアプリなど。

これらの配慮がおすすめです。聞き取り困難症 (LiD/APD) の当事者だけでなく、難聴や聴覚過敏の当事者に有効であることはもちろんのこと、あらゆるすべての方のために有効な手立てです。

参考文献 <https://qpd.amed365.jp/index.shtml> LiD / APD 診断と支援の手引き(2024 第一版)

国立特別支援教育総合研究所 講義資料『聴覚障害児の心理Ⅶ (Listening Difficulties の理解と対応)』小淵千絵 (国際医療福祉大学)

群馬県立館林高等特別支援学校 専門アドバイザー 藤井 絵美  
〒374-0046 群馬県館林市上三林町197番地  
Tel 0276-71-1000  
<https://kankoutoku-ses.gsn.ed.jp>

電話相談、メール相談、  
来校相談、訪問相談、  
受け付けています。  
お気軽にどうぞ。